

# 熱中症情報

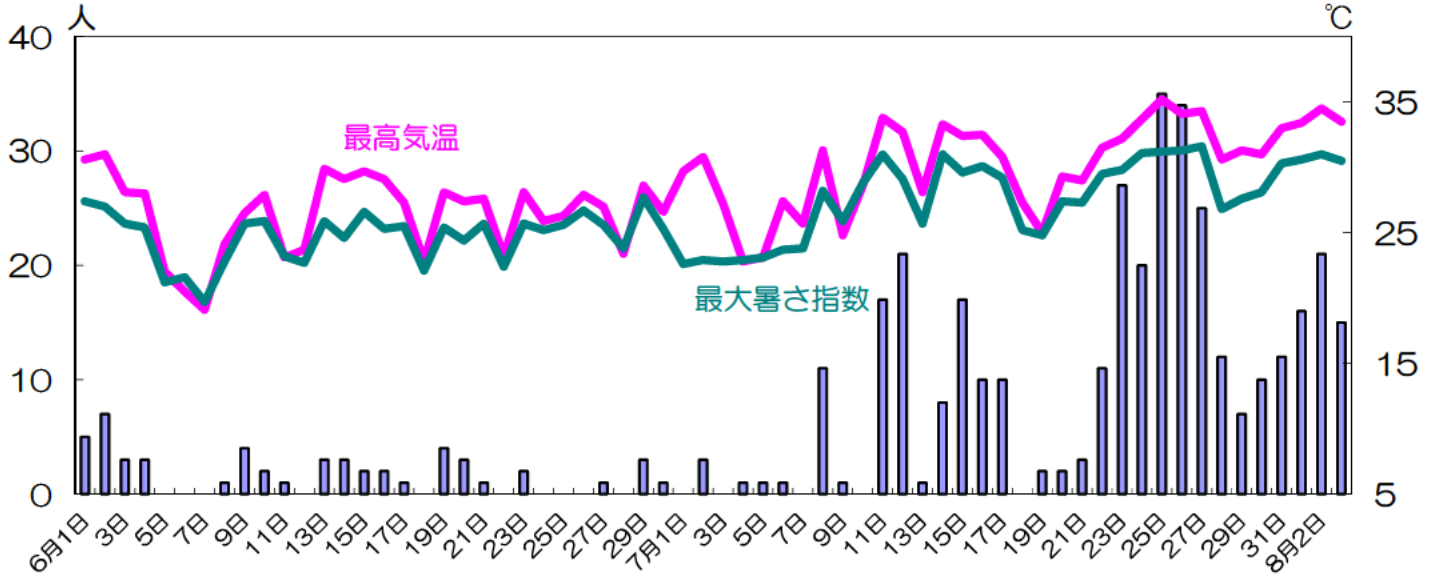
平成26年8月6日

## <搬送人数>

平成26年5月1日～8月3日までの救急搬送数は、計417人（5月11人、6月52人、7月302人、8月52人）です。

梅雨明け（7/22）以降、連日最高気温が真夏日（猛暑日（7/25））を記録し、搬送者は増加傾向です。

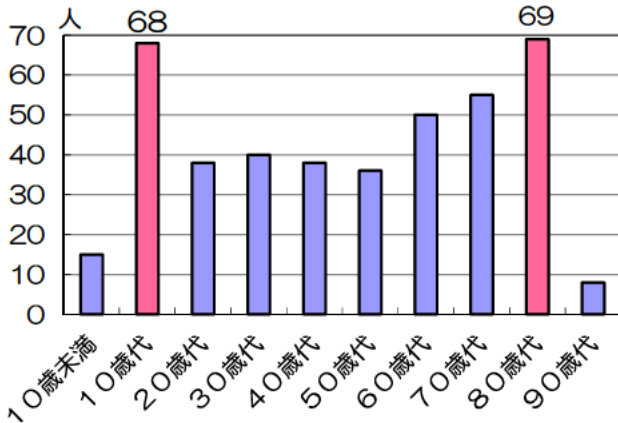
室温が28℃を超えないよう、エヤコンや扇風機を上手に使い、こまめな水分・塩分補給をし、熱中症にならないよう、注意しましょう。



**暑さ指数とは？**人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標  
詳細は「[環境省熱中症予防情報（暑さ指数（WBGT）について学ぼう）](#)」をご覧ください。

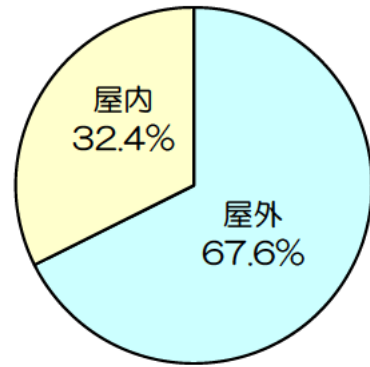
## <年齢別>

年齢別では、80歳代が一番多く16.5%を占め、次に10歳代が16.3%でした。



## <発生場所>

屋外67.6%、屋内32.4%でした。



## <重症度>

軽症61.4%、中等症33.8%、重症4.1%、重篤0.7%でした。重症以上は20人（「屋外」8人、「屋内」12人（60%））で、高齢者の約9%は重症・重篤であり重症化の傾向が見られます。

